

生きがいを高める活動（囲碁将棋大会）

令和8年7月16日（木曜日）柴崎福祉会館集会室にて、立老連主催の囲碁将棋大会が開催されました。



参加者は、囲碁 12 名、将棋 7 名の計 19 名。

市内各地の老人クラブから集まりました。

囲碁、将棋とも、実力により、A、Bグループ分け。

リーグ戦方式で熱戦が繰り広げられました。

昨年、完全優勝した
師田 英道さん（四段
エステート一番親和会
囲碁グループA）で
す。

今年も、優勝でしょ
うか？



優勝発表です

囲碁の部 グループA

コープ西国立元気クラブ 柴野 隆三さん（参段）

囲碁の部 グループB

日和会 辻橋 貞明さん（2級）

将棋の部 グループA 松鶴会 三嶋 賢一さん（参段）

将棋の部 グループB 錦六延命会 内野 邦行さん（3級）



左が、将棋の部グループAで優勝した三嶋 賢一さん（参段、松鶴会）

賞品は、連盟の扇子（羽生善治＜玲瓏＞）でした。

三嶋さんにインタビューしました。

「頭の体操としてやっています。勝ち負けには拘らず、楽しみでやっています。」「曙福社会館で時々打っていますが、ここ半年ぐらいは打ってないかな」ということでした。

藤井聡太の棋風をパソコンに打ち込んで楽しんでいるそうです。勝った局全て、400局以上を全部打ち込んでいるとのことでした。

大会には、一昨年、老人クラブの会長の伊藤さんに誘われて、出場しました。初出場で、いきなり優勝、昨年は惜しくも負けてしまいましたが、今年見事に優勝することが出来ました。

アドバイスを頂きました。

「一手間違えると、負けてしまうから、集中力がいる。それが将棋だ」とのことです。

「あと、歩の使い方が上手になると、強くなるよ」と教えてくれました。

右、将棋の部グループA 準優勝した堀 弘さん（参段、松友長寿会）にも聞きました。

今大会を振り返ってどうですか？

「テレビでプロの対局を見ているけど、やっぱり、その通りには行かないね」ということでした。

三嶋さんの藤井聡太の話を継いで、

「藤井聡太は難しいよ、やっぱりレベルが違うね」とのことでした。

最後に、去年は優勝、今年は負けてしまいましたが、悔しいですかと聞いたところ、

「三鴨さんもそうだけど、そんなに勝ち負けには拘っていない、楽しみでやっているだけだから」とのこと。

さすが遊興の棋士、棋楽と呼ばれる相応しいお二人でした。